



北米ホーリネス教団
オレンジ郡
キリスト教会
「週報」

2015年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 聖書日課に励もう
3. 祈り会に参加しよう
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am
 コヒー・アワー : 日曜日 10:45~11:15am
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm
 みふみ会 : 水曜日 10am
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm
 早天祈禱会 : 土曜日 7am
 家庭集会 : 各地区に2箇所
 牧 師 : 杉村 幸 (日語部)
 : 益田デーロ (英語部)
 電 話 : (714) 827-6244 (教会)
 : (714) 527-1456 (牧師館)
 E-Mail : sugimurai950@gmail.com
 教会ホームページ : www.occc.org
 教会所在地 : 4872 Bishop St.
 Cypress, CA 90630

◎石叫◎ 「親の務め」
 今日ご紹介する詩は、親子関係をもの見事にうたいあげた傑作である。レバノン生まれのカリール・ギブランという詩人のもので、『子どもに愛が伝わっていますか』の著者・近藤千恵氏の引用にあったものだ。(三笠書房・一九九七年)
 「あなたの子どもは、あなたの子どもではない
 待ちこがれた生そのものの息子であり、娘である
 あなたを経てきたが、あなたから来たのではない
 あなたとともにいるが、あなたに属してはいない
 あなたは愛情を与えても、考えを与えてはいけない
 なぜなら、彼らには彼らの考えがあるから
 あなたは、彼らのようになる努力はしても
 彼らをあなたのようにすることを求めてはならない
 なぜなら生は後戻りしないし
 きのうにとどまりもしないのだから
 あなたは弓であり
 あなたの子どもは、あなたから飛び立つ矢である」
 続いて著者は語る。「私たちは、いったいどんな矢を飛ばそうとしているだろうか。この詩にもうたわれているように、親自身、自分も矢として飛びながら、子どもとの関係においては弓となる役割をもっていることの自覚が大切である」
 さて、最も身近にいる者との関係ほど難しいものはない。アダムとエバという人類の祖からして、お互いの関係は良くはなかったようだ。彼らの次男アベルのの意味が「名無しのごんべい」ときては、夫婦関係は推して知るべしである。果たして彼らが弓としての自覚を持っていたかどうか。
 しかし、本来のあるべき姿を、ソロモンは、「壮年の時の子供は勇士の手にある矢のようだ」(詩篇一二七・4)と記す。子どもというのは、時いたって親元から解き放たれてゆく。それは勢いよく飛び出す矢のようだと、よく言ったものである。実に「的」を衝いた言い方である。詩人ギブランも、この詩篇から考えついたのかも知れない。矢を放つために、弓である親は満を持してその時を待つ。それがいつ放たれるのか、それぞれ違う。でもいつ放たれても、それからは主に委ねるしかない。そこに持つてゆくことが弓としての務めなのではなからうか。主に信頼することから全てが始まる。(二〇一五年五月三日)

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。

私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

